

1 研究主題

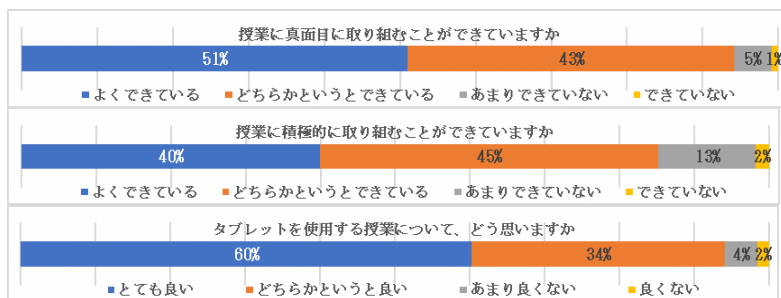
生徒の主体的な学びを育む教育活動の在り方
 — I C T機器を活用した授業を通して—

2 研究仮説

I C T機器を使用した授業研究を行い、個々の教師の授業力を向上させることで、生徒の主体的な学びの質を向上させることができるであろう。

3 生徒の実態

7月に実施した授業アンケートの結果では、授業に真面目に取り組むことができている生徒の割合が非常に高い一方、積極的に取り組むことができている生徒の割合は低くなっている。また、授業で使用するタブレットP Cについての項目では、肯定的な評価をする生徒が多い。



4 研究内容

タブレットP Cを活用した授業研究

- (1) 生徒の主体性を生かした授業実践(年4回)
- (2) 教科の枠を超えた授業研究、討議(K J法)

授業支援ソフト等の研修の実施

- (1) ロイロノートの活用法
- (2) ロイロノートを活用した授業での課題と検証

5 研究の実践



1年道徳

タブレットP Cを活用し、生徒の意見を種類ごとに色分けして提出させることで、それぞれの意見の割合や移り変わりが分かりやすい。また、学級全体で意見の共有、交流が活発にできる。



2年数学

デジタル教科書を活用することで、学習課題の理解や共有がしやすい。また、タブレットP Cを活用し、班ごとに問題を作成して交流することで、意欲をもって学習に取り組むことができる。



3年美術

タブレットP Cによって図版を拡大することで、細かな部分まで見ることができる。また、シンキングツールを活用することで、作品の分類に主体的に取り組むことができる。

6 課題と今後の取り組み

今年度は、生徒の主体性を高めるために、全教員がほぼ全ての授業においてタブレットP Cを活用し、有効的な活用方法を模索してきた。その結果、教員、生徒ともにタブレットP Cを利用することへの抵抗はなくなってきている。しかし、授業本来のねらいから外れ、タブレットP Cを利用することが目的の授業となる場面も見られた。今後は、授業討議においてタブレットP C活用の効果を分析し、より効果的な場面を精選していけるよう、一層研修を重ねていきたい。